

史料保存利用問題シンポジウム

東日本大震災から二年、 資料の救済・保全のこれから

日時：2013(平成25)年6月22日(土) 13:30~17:30

場所：駒澤大学 駒沢キャンパス 1号館 1-202 教場

開会挨拶：木村茂光（日本学術会議会員 帝京大学教授）

報告

荒木一彦（国立公文書館業務課長）

「被災公文書等修復支援事業の実施について」

高橋 修（茨城大学人文学部教授）

「東日本大震災被災資料保全活動の成果と課題

—茨城史料ネットの二年間— 」

白水 智（中央学院大学法学部准教授）

「文化財保全活動とその前提

—長野県栄村での事例から— 」

閉会挨拶：高埜利彦（日本学術会議会員 学習院大学教授）

主催：日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会・日本アーカイブズ学会